

クマによる被害を防ぐために



※写真：環境省提供

●クマと出会わないために

- **自分の存在を知らせる**
 - ・散歩や農作業等クマ鈴やラジオなど、音の出るものを携帯しましょう
- **目撃・出没情報のあったところには近づかない**
 - ・登米市メール配信サービスに登録すると目撃・出没情報が届きます
- **クマの食べ物となるものを放置しない**
 - ・柿や栗は収穫し、利用しないものについては廃棄しましょう
 - ・生ごみ等を自宅周辺に放置しないようにしましょう
- **施錠の確認をする**
 - ・クマは家屋や倉庫にも侵入するため、戸締りを徹底しましょう

●クマに出会ってしまったら

クマを目撃した場合は、登米市産業経済部農林振興課、最寄りの総合支所、又は警察（１１０番）に通報をお願いします

- **距離が離れていた場合（クマがこちらに気付いていない）**
 - ・ゆっくりと静かに立ち去る
- **比較的距離が近い場合（50メートル程度）**
 - ・両腕をふりこちらの存在をクマに知らせ、クマから目を離さずにゆっくりと静かに後退する。森林内であれば、万が一の突進に備えてクマとの間に障害物がくるようにする。
- **距離が近い場合（20メートル程度）**
 - ・クマがパニックになり突発的な攻撃をする可能性があるため、刺激しないことが大切。走ったり大声を出したりせず、クマから目を離さずにゆっくりと後退する。森林内であれば、万が一の突進に備えてクマとの間に障害物がくるようにする。
- **クマが突進してきたら（威嚇突進）**
 - ・威嚇突進の場合は、途中で止まり後退することが多い。落ち着いて、クマとの間に障害物が来るようにゆっくりと後退する。
- **クマが突進してきたら（本当の攻撃）**
 - ・クマスプレーを目や鼻をめがけて噴射する。クマスプレーがない場合は、防御姿勢（両腕で顔面や頭部を覆い、ただちにうつぶせになるなど）をとる。

子グマに注意！
近くに母グマがいる可能性があります。母グマは、子グマを守るため、特に攻撃的になります。

登米市産業経済部農林振興課
TEL：0220-34-2709



※出典：1）環境省作成パンフレット「豊かな森の生活者 クマと共存するために」（2016年9月発行）
2）環境省マニュアル「クマ類の出没対応マニュアル」（2021年3月改訂）